

GEKKAN ORIMOTO

月刊 織本

6月号

2010年6月1日 Vol.190

発行 医療法人財団 織本病院

印刷 〒204-0002 東京都清瀬市旭が丘 1-261

Tel 042-491-2121 URL <http://www.orimoto.or.jp/>

発行人 高木由利



エビネ

ステキな夜のコンサート

理事長・院長 高木由利



私の一番好きな花は芍薬。毎年この花がお花屋さん
に並ぶのを私はいつも心待ちにしています。今年はい
つもより2週間以上も遅れて登場しました。私は自
分のベッドルームの枕元に芍薬を飾り、かぐわしい夢
の世界に入る時、とてもとても幸せを感じるのです。

* * *

5月25日、当院では初めてのトランペット2台と
ピアノのトリオコンサートが開かれました。昨年この
3人の方々のクリスマスコンサートを聴きに行って大
感激し、当院にいらしてほしい旨をお願いしたのです。
トランペットは私にはあまり馴染みがなく、どちらか
というとトランペットのコンサートは避けていたよう

に思います。

今回のエンターテイナーは、ピアニストの岡田知子
さん、トランペッターの吉田太美男さん、前原尚規さ
んのステキなトリオです。

トランペットの起源は、およそ3500年前頃でツタ
ンカーメンのお墓の中から管楽器が発見されたとい
うことでした。昔、ヨーロッパの王や貴族達はお祝い
や狩り、あるいは生活の様々な場面で管楽器を使っ
ていたようです。旧約聖書を読んでいるとその時代の
人々は様々な楽器、例えばフルート、八弦の豎琴、
タンバリン、弦楽器などを使い、また指揮者もいて
音楽を楽しんでいたことが分かります。そしてラッ
パを吹き鳴らしていたと記載されているのです。

3人の方々のコンサートは3500年前まで私達を
タイムスリップさせて下さり、時には森の奥深くで
狩りをしたり焚き火を囲んでラッパを吹き鳴らして
踊る光景を頭の中に描き出して下さったのです。

私はこんなに立体的で楽しい、そして美しい音色
のコンサートを体験したことはありませんでした。ま
た岡田知子さんのピアノソロはショパン生誕200
年を記念して幻想即興曲を演奏して下さいました。
私の心は生涯ショパンを弾き続けた亡き叔母、
ピアニストの



クロイツァー豊子の姿と音色の中に引き込まれていき涙が止まりませんでした。

病院4階のホールは素晴らしいコンサートホールとなり、聴衆の方々と心を1つにして満たされた時間を味わったのです。

* * *

私のヴィジョンの1つはホスピタルアートです。病院はどの世界よりもアートを必要としていると私は考えています。それは患者さんだけでなく医師やナースを初めとする全ての医療者の心の渇きを潤してくれると信じているからです。このオリモトホールを使って今年もまた様々なコンサートを開いていく予定です。

次回は7月9日（金）、25才の2人の青年達によるギターデュオです。是非いらしてください。



ジョウゴにビニールホースを繋げて
古代のトランペットを再現した演奏

What's 放射線

Vol.3

レントゲン写真 今昔物語

放射線科 技師長 松浦 秀雄



私が織本病院に入職し早30年以上が経ちました。その間の医療の進歩は日進月歩のごとく、私が担当しているレントゲン検査においても同様でした。

皆様もご存じの通り、昔はレントゲンを撮ると技師はフィルムの挟んであるカセットという重たい板を持ち暗室（フィルムが光に当たらないように特殊な照明で照らされた部屋）に入りそこで現像する装置（自動現像機）に、フィルムを1枚ずつ挿入していました。当病院では撮影枚数も大学病院に比べまだ少ないほうですが、大病院になると撮影枚数も多く、新人の仕事といえば暗い部屋に1日中いてひたすら撮影済みフィルムを自動現像機に流す作業でした。

世の中がアナログからデジタルに移ると共にレントゲンの世界でもアナログからデジタルへ。まずカセットというフィルムを挟んでいた板がなくなり、その代わり何度でも使用出来るIPプレートというものに変

わりました。IPプレートはレントゲン検査で体を通じたX線のあるエネルギーに変え蓄積します。その蓄積されたエネルギーを専用の機械で読み取り、読み取られたデータはデジタル信号に変換されフィルムになります。そのフィルムにする際も昔は自動現像機で処理をしていましたが、DRYシステムに移りました。DRYシステムとは、フィルムの現像が液でなく熱で処理を行う方法で、現像液を使わないため当然廃液などはなくなり環境にやさしい処理です。また暗室に入りフィルムを流すという作業がなくなり明るい部屋での作業が可能となったため、新人にとっては早い段階で撮影研修や患者様の接し方を学べる機会が多くなりました。そしてアナログからデジタルに変化したことやIPプレートの使用により撮影後に写真の濃度やコントラストを変えることが可能となり、検査における再撮影が激減しました。

ここまでの進歩は凄まじいものでありましたが、時代の流れは止まらず今やフィルムも使わない時代になりました。

今のシステムを簡単に説明しますと、まず検査自体は同じですがIPプレートに書きこまれた画像信号を読み込みパソコンの画面で濃度等を調整した後、直接専用のパソコンに画像を保管します。医師が診察するときは手元のパソコンの画面を開き専用のパソコンから画像を読み込み診断を行うという時代になりました。当然必要性があればいつでもフィルムにすることも、紙に印刷することも、また専用回線を使い遠くに離れている画像専門の診断医に詳しくチェックしてもらうことも可能です。現に当病院においても、検査によっては、当病院医師が画像を見て、なお且つ専用回線を使い画像専門医が二重にチェックして診断に万全を期しています。また診察時においても医師が見たい箇所を拡大したり、また濃度を変えることや、大きさを測ることも可能です。

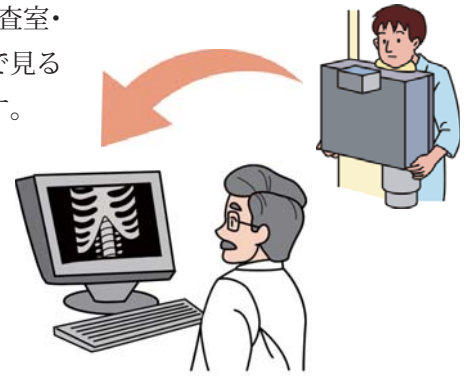
当病院では現システムへの取り組みが早く患者様の2002年からのレントゲン画像を専用のパソコンに厳重に保管しており、現在いつでもどの診察室または関

係した部門（検査室・手術室など）で見ることができます。

今現在、大学病院などの大きなところではIPプレートなど使わずに検査の時に直接パソコンに接続されたプレートに読み込ませています。その方式ですと撮影と同時に画像が見られ、瞬時に医師のパソコンで診断が可能となります。

以上この30年間レントゲン写真の処理等が進歩してきましたが、今後どのように進歩していくのでしょうか。今CTの検査時検査部位によっては息を止めて頂きますが、最新の装置では、息を止めなくても検査できる装置が開発されてきました。

今後はより体への負担が少なく、なお且つ多くの情報が得られるような検査が増えてくることでしょうか。あるいはレントゲンに変わる検査が現れるかもしれません。



栄養科 通信

栄養科 主任 重野 隆幸



はじめまして。5月より織本病院に勤務しております、管理栄養士の重野隆幸（しげの たかゆき）です。生まれは新潟県上越市、上杉謙信縁の地であり、皆さんご存知「米どころ」で

す。見渡す限りの田んぼ、1時間に1本のバス。そんなのんびりした土地が私の故郷です。

清瀬市に来て、実は一番驚いているのは緑が豊かという点です。ケヤキの並木や広がる畑に、時々故郷の風景を思い出しホッとします。天気の良い日は自転車で散策するのが最近の楽しみです。散歩も気持ち良いですね。ちょっとした運動に皆さんも如何でしょうか。

散策をしていると、野菜の無人販売所を見つけました。時期外れの為か品物はありませんでしたが、そういえば清瀬市は人参が名物だとか。新鮮な野菜が手に入ると思うと実りの時期が今から楽しみです。人参には、カロチン・ビタミンAが豊富に含まれています。体に不可欠な栄養ですが、食べすぎにより過剰症も起こり得ますのでご注意を!!

先日読んだ本の中に、食事に関する言葉がありました。『食事をすることは不可欠なことであるが、知的に食事をすることは芸術である』だとか。バランスを考慮した食事が大切、という事が伺えます。私も栄養指導を通じて、皆さんの食生活のサポートができればと思います。若輩者ではありますが、精一杯頑張りますので宜しくお願い致します。



脳ドック のすすめ

高血圧・脂質異常症（高脂血症）・糖尿病などにより動脈にコレステロールが付着すると、粥状（おかゆ状）の脂肪性沈着物ができます。これをアテロームといいます。このアテロームが年月をかけて血栓として固まり、脳への血管の流れを止めてしまう症状を『アテローム血栓性脳梗塞』といいます。運動不足・濃い味付けや甘いものが好き・ストレスが溜まりやすい・お酒好き・喫煙などが大きく影響します。

当院の脳ドックでは、このアテローム血栓性脳梗塞のスクリーニングを目的とした画像診断をはじめ、様々な検査を行い、脳疾患の早期発見に役立てます。

検査内容

- ① MRI（断層画像診断） — 頭部
- ② MRA（血管撮影） — 頭部・頸部
- ③ 血液検査 — 総たんぱく・アルブミン・アルブミン/グロブリン比・ビリルビン・ALP・LDH・GOT・GPT・尿素窒素・クレアチニン・ナトリウム・クロール・カリウム・ γ -GTP・尿酸・中性脂肪・総コレステロール・善玉コレステロール・悪玉コレステロール・血糖・ヘモグロビン
- ④ PWV（動脈硬化検査）
- ⑤ 心電図
- ⑥ 血圧測定
- ⑦ 医師面談

※ 結果表と CD-R（検査画像）を後日ご自宅へ郵送いたします。

脳ドック実施日

- ▶ 火曜日 午前
- ▶ 水曜日 午後
- ▶ 金曜日 午前
- ▶ 土曜日（第2を除く） 午前・午後

検査料金

39,900 円（税込）

オープン型 MRI で
ストレスのない検査を!!



第111回 腎疾患ゼミナール

『腎不全を理解しよう!! ⑤』

～ 検査データに変化が出たとき その5 ～ 』

栄養科からのワンポイントアドバイス

腎臓内科：高木由利

『でんぷん製品を使ったレシピ』 管理栄養士：重野 隆幸

どなたでもご参加頂けます。皆様ぜひお越しください。

日時：2010年6月17日(木)
午後1:00～
会場：オリモトホール(当院4F)
参加費：無料